

担当講座	形成外科学講座	問合せ先	形成外科学講座
分野責任者	櫻庭 実 教授	連絡先	内線 6571
担当教員	櫻庭 実 教授 本多 孝之 特任准教授		
人材育成の 基本理念	形成外科学の基礎および臨床研究者を育成する。		
主な研究内容	形成外科学の臨床の基礎となる、もしくは進歩につながる研究を行う。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	形成外科学に係る臨床及び基礎的知識を習得し、形成外科領域の疾患の診断および治療技術の原理を総合的かつ系統的に学ぶことにより、形成外科医として革新的な医療を立案・遂行するために必要な幅広い知識を習得する。形成外科の対象となる疾患の病態を理解し、本領域における学術的課題を見出し、その課題に対する研究を計画・立案・遂行することにより、高い倫理性をもって、高度医療や医学研究を遂行できる能力を獲得する。形成外科プロフェッショナルに要求される研究方法論を学ぶことにより最新の生命科学ならびに医学研究の動向について、継続的に情報収集と解析を続ける能力を形成する。		1,2,3,4,5,6,7,8
到達目標	到達目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる	ベーシックセミナー、形成外科学Ⅰ・Ⅱ	
	(2)適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。	研究方法論、形成外科学Ⅰ	
	(3)得られた研究結果を正しく解釈できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、形成外科学Ⅰ	
	(4)解析結果ををまとめ、発表できる（英文が望ましい）	特別研究ⅠⅡⅢ、形成外科学Ⅰ	
	(5)病因の解明や治療法の発展に寄与できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、形成外科学Ⅰ・Ⅱ	
	(6)次世代の人材育成に貢献できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、大学院セミナー	
	(7)体表・頭蓋顎顔面・四肢先天異常の病因、病態生理、症候、画像、臨床検査、診断、鑑別診断、治療および予後、今後の臨床的課題などを説明できる。	形成外科学Ⅰ	
	(8)体表・頭蓋顎顔面・四肢領域の外傷・組織損傷の病態、症候、画像、臨床検査、診断、鑑別診断、治療および予後、今後の臨床的課題などを説明できる。	形成外科学Ⅱ、形成外科手術学Ⅰ・Ⅱ	
	(9)体表における良性・悪性腫瘍の病因、病態生理、症候、画像、臨床検査、診断、鑑別診断、治療および予後、今後の臨床的課題などを説明できる。	形成外科手術学Ⅰ・Ⅱ	
	(10)顔貌や体表変形に関連した整容的診療対象について、病因、病態生理、症候、画像、臨床検査、診断、鑑別診断、治療および予後、今後の臨床的課題などを説明できる。	形成外科学Ⅰ、形成外科手術学Ⅰ・Ⅱ	
	(11)上記疾患に対する診療との関連から、組織修復や創傷治癒の過程について説明できる。	形成外科学Ⅱ、形成外科手術学Ⅰ・Ⅱ、形成外科診断学・治療学	
	(12)上記疾患に対する診療との関連から、植皮や皮弁をはじめとする形成外科的治療技術の原理と問題点について説明できる。	形成外科手術学Ⅰ・Ⅱ、形成外科診断学・治療学	
	(13)形成外科診療にかかわる課題から、臨床的並びに基礎的研究計画を立案、遂行できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、形成外科手術学Ⅱ、形成外科診断学・治療学	
	(14)形成外科領域全般における診療内容と技術を理解し、基本的診療技能を実践できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、形成外科学Ⅱ、形成外科手術学Ⅰ・Ⅱ、形成外科診断学・治療学	
(15)国際学会における英語でのプレゼンテーション、あるいは英語論文の執筆ができる。	特別研究ⅠⅡⅢ、形成外科手術学Ⅱ、形成外科診断学・治療学		
資格取得等	形成外科専門医取得につなげる。		
履修に関する 情報	履修に支障がある場合は、可能な限り日程等の調整を行う。入学時より前半の2年間の間に共通教育科目の必修科目「研究方法論」に加えて、に加えて、選択必修科目「がんのベーシックサイエンス」「生命科学解析手法概論」「脳のベーシックサイエンス」のいずれかを履修する。（問合せ先：形成外科学講座・内線 6571）。		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名	開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究 特論	1～2年	講義 形成外科学Ⅰ	通年	30	4	20単位	※20単位以上の取得可
		講義 形成外科学Ⅱ	通年	30	4		
	1～4年	実習 形成外科手術学Ⅰ	通年	120	8		
		実習 形成外科手術学Ⅱ	通年	120	8		
		演習 形成外科診断学・治療学	通年	60	8		
特別 研究	2年	特別研究Ⅰ（初期審査）	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者 対象科目
	3年	特別研究Ⅱ（中間審査）	通年	8	1		
	4年	特別研究Ⅲ（論文作成）	通年	15	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

形成外科学

コード	MD15161010					MD15161020					MD15161030					MD15161040				
科目	形成外科学Ⅰ					形成外科学Ⅱ					形成外科手術学Ⅰ					形成外科手術学Ⅱ				
科目責任者	本多孝之					櫻庭実					櫻庭実					櫻庭実				
担当者	本多孝之					櫻庭実					櫻庭実、本多孝之					櫻庭実				
会場	形成外科医局					形成外科医局					中央手術部					中央手術部				
区分等	区分	講義	単位	4		区分	講義	単位	4		区分	実習	単位	8		区分	実習	単位	8	
	回数	通年30コマ	配当年次	1～2		回数	通年30コマ	配当年次	1～2		回数	通年120コマ	配当年次	1～4		回数	通年120コマ	配当年次	1～4	
主な授業内容	先天異常学					外傷学・創傷治療学					Atraumatic technique の基礎と臨床					形成外科的組織移植の基礎と臨床				
アウットカム	形成外科で取り扱う体表・頭蓋顔面・四肢 先天異常について説明できる。					外傷における組織の取り扱いと創傷治療につ いて説明できる。					愛護的な組織の取り扱いについて習熟する。 基本的な縫合、植皮術、および簡単な皮弁の 挙上が来る。					皮弁、植皮を含む組織移植の基本事項を理解 し、その種類と特徴、生着過程が説明できる。				
コピテックス番号/達成度	コピテックス1	コピテックス2	コピテックス3	コピテックス4	コピテックス5	コピテックス1	コピテックス2	コピテックス3	コピテックス4	コピテックス5	コピテックス1	コピテックス2	コピテックス3	コピテックス4	コピテックス5	コピテックス1	コピテックス2	コピテックス3	コピテックス4	コピテックス5
	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。					各講義に対する事前事後学修は1時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。					各講義に対する事前事後学修は1時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。				
	評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。					【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。					【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。					【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書	標準形成外科学、					TEXT形成外科					形成外科の基本手技					形成外科の基本手技				

コード	MD15161050					MD15169010					MD15169020					MD15169030				
科目	形成外科診断学・治療学					特別研究Ⅰ					特別研究Ⅱ					特別研究Ⅲ				
科目責任者	櫻庭実					各(正)指導教員					各(正)指導教員					各(正)指導教員				
担当者	櫻庭実					各指導教員					各指導教員					各指導教員				
会場	形成外科医局					各指導教員と相談の上決定					各指導教員と相談の上決定					各指導教員と相談の上決定				
区分等	区分	演習	単位	8		区分	演習	単位	1		区分	演習	単位	1		区分	演習	単位	2	
	回数	通年60コマ	配当年次	1～4		回数	通年8コマ	配当年次	2		回数	通年8コマ	配当年次	3		回数	通年15コマ	配当年次	4	
主な授業内容	臨床例の検討					・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画書の作成 初期審査の準備					・生命科学や研究手法の専門的な知識 ・中間審査の準備					・生命科学や研究手法の発展的な知識 ・論文作成 最終試験の準備				
アウットカム	カンファレンスでの症例プレゼンテーションを行い、治療法の選択と予想される結果について報告できる。					生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <初期審査>2年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画書等に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。					生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <中間審査>3年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。					生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 <論文作成>学位申請までに実施。論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。				
コピテックス番号/達成度	コピテックス1	コピテックス2	コピテックス3	コピテックス4	コピテックス5	コピテックス1	コピテックス2	コピテックス3	コピテックス4	コピテックス5	コピテックス1	コピテックス2	コピテックス3	コピテックス4	コピテックス5	コピテックス1	コピテックス2	コピテックス3	コピテックス4	コピテックス5
	A	A	A	A	A	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 初期審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。				
	評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。					【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。					【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。					【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書																				

●時間割

形成外科学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20		形成外科診断学・治療学			形成外科診断学・治療学	共通教育科目
2 限	10:30~12:00		形成外科手術学I			形成外科手術学II	
3 限	13:00~14:30		形成外科手術学I			形成外科手術学II	
4 限	14:40~16:10		形成外科手術学I			形成外科手術学II	
5 限	18:00~19:30	形成外科学I					
6 限	19:40~21:10	形成外科学II	特別研究 I~III				
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20		形成外科診断学・治療学			形成外科診断学・治療学	共通教育科目
2 限	10:30~12:00		形成外科手術学I			形成外科手術学II	
3 限	13:00~14:30		形成外科手術学I			形成外科手術学II	
4 限	14:40~16:10		形成外科手術学I			形成外科手術学II	
5 限	18:00~19:30	形成外科学I					
6 限	19:40~21:10	形成外科学II	特別研究 I~III				

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						